

きょう海峽ゆめタワーで限定販売

ハート形のミカン

完熟ひとめぼれ「バレンタインの贈り物に」

下関市の下関柑橘組合(安成英生組合長、82戸)は、1月中旬ごろから2月上旬ごろにかけて出荷している袋を掛けて完熟させた温州ミカン「ひとめぼれ」を多くの人に親しんでほしいと、ハート形に育てた。

下関柑橘組合

ひとめぼれの出荷時期が2月14日のバレンタインデーに近いということもあり、大切な人への贈り物にしてほしいと、2016年度から試験的な栽培を開始。9月上旬、膨らみかけの果実上部にパイプ、下部には垂直に板を添え、成長に伴ってハート形になるように試行錯誤を重ねてきた。

現在は安成組合長が所有するビニールハウスでのみ生産しており、今季は型を取り付けた150個のミカンのうち、成果率は3割程度だった。今後は生育方法を確立し、栽培農家を増やしていく予定という。安成組合長は「大切な人へ思いを伝えるための贈り物として認知されれば」と話す。

ハート形のひとめぼれは、28日午前10時から「恋人の聖地」として知られる同市豊前田町の海峽ゆめタワーで開かれるイベントでフラワーアレンジメントなどを添えて9セットを限定販売。同タワーのレストラン「天空カフェ・ティアラ」では、パフェ(税込み1250円)にのせて60食限定で提供する。通常の丸いひとめぼれもイベントに来た先着50人にプレゼントする。タワーの入場料金として一般600円、小中高生、65歳以上は300円が必要。問い合わせは県下関農林事務所(電話0833・766・1206)へ。



「ハート形のひとめぼれを大切な人への贈り物に」と話す安成英生組合長＝下関市